

事業報告書

平成30年度

1. 事業の成果

本年度は本法人が本格的に特定非営利活動に係る事業を展開した初年度であった。

「ユネスコ世界文化遺産」及び「ユネスコ世界の記憶」登録に向けた学術調査事業として会員及び一般の方に向けてこれらを共に学ぶ座談会（講演会）を2回開催した。また、今後適切な学術調査をスケジュール感を持ちながら進展させるべく、これらの登録に係るロードマップ（2019年度～2021年度）を作成した。次年度以降、当該ロードマップに基づき学術調査を進め、登録に向けた着実な進展を図る。

啓発交流推進事業として昨年5月9日に架橋30周年を迎えた邑久長島大橋に関するシンポジウムを開催し、報告書を作成した。国立ハンセン病療養所入所者のみならず、架橋前から長島に関わってきた人々や今後歴史の継承者としての役割が期待される地元邑久高等学校生徒の思いを共有することができた。報告書の発行を新聞や法人ホームページで広報したところ全国から多くの郵送希望者があり、ハンセン病問題と長島、そして邑久長島大橋への関心の高さが示された。その他必要な事業として法人理事等による講演会の開催を周知したところ、多くの問い合わせがあり岡山県内外で合計30回開催し、延べ3100人の参加があった。

これらに加えて以下の事業を展開した結果、多くの新規会員と寄附金の獲得を実現することができた。次年度も特定非営利活動に関する事業を展開し、その状況を会報誌やホームページ、SNSを通じて広報しながら本法人の目的の達成に不可欠な会員及び寄附金の獲得を通じて永続的な組織運営の財政基盤構築に努めたい。

2. 事業の実施に関する事項

1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実際日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
ユネスコ世界文化遺産登録に向けた学術調査事業	・ 招聘講師を囲む座談会(講演会) [講師] 神戸芸術工科大学教授 西村幸夫氏 (日本イコモス国内委員会委員長) [演題] ユネスコ世界文化遺産について -顕著な普遍的価値と法的保護を中心に- ※	H30.6.9	長島愛生園 日出会館	10人	参加者 100人	365
ユネスコ世界の記憶登録に向けた学術調査事業	・ 招聘講師を囲む座談会(講演会) [講師] 福岡県田川市石炭・歴史博物館学芸員 福本寛氏 [演題] ユネスコ世界の記憶と国指定史跡について (山本作兵衛コレクションと筑豊炭田)	H31.2.10	邑久光明園 こうみょう会館	10人	参加者 50人	132
ユネスコ世界文化遺産登録に向けた学術調査事業/ユネスコ世界の記憶登録に向けた学術調査事業	・ ユネスコ世界文化遺産及びユネスコ世界の記憶 (世界記憶遺産)登録に向けた施策構築支援事業 (2019年度～2021年度ロードマップの作成)	H30.12～ H31.3	長島愛生園 邑久光明園 瀬戸内市内 東京都内	10人	瀬戸内市民 法人会員 約36,000人	3,013
ユネスコ世界文化遺産及び世界の記憶登録に向けた啓発交流推進事業	・ NPO法人のロゴ、キャッチフレーズ等の募集及び決定	H30.5～ H30.9	瀬戸内市 ゆめトピア長船 (H30.9.1授賞式)	10人	応募者・ 法人会員 760人	280
	・ 邑久長島大橋架橋30周年記念 シンポジウム開催事業	H30.9.1	瀬戸内市 ゆめトピア長船	10人	参加者 350人	1,376
	・ 邑久長島大橋架橋30周年記念 シンポジウム報告書作成郵送事業	H30.10～ H31.2	法人事務所	5人	印刷部数 1000部	614
	・ クラシックカーラリー ヴェッキオ・バンビエノ協賛事業	H30.10.6	長島愛生園	5人	参加者 約100人 観客 約500人	278
	・ 長島両園と裳掛地区の歴史的建造物、 史跡(空撮を含む)及び歴史的記録物の 撮影事業	H30.10～ H31.3	瀬戸内市裳掛地区 (長島を含む)	5人	瀬戸内市民 法人会員 約36,000人	632
ハンセン病患者に対する 隔離政策の歴史を 地域の歴史として検証する事業	・ 大手前大学及び神戸芸術工科大学 受け入れ事業	H30.8～ H30.10	瀬戸内市邑久町 虫明港周辺	5人	参加者 100人	53
その他、本法人の目的を 達成するために必要な事業	・ 普及啓発及び会員獲得を目的とした 理事等による講演会	H30.4～ H31.3	県内29か所 兵庫県上郡町	10人	参加者 3,100人	13
	・ 十坪住宅貯金箱リバイバル版作成事業	H30.12～ H31.3	長島愛生園 寒風陶芸会館 備前福岡郷土館	10人	瀬戸内市民 法人会員 約36,000人	75

※通常社員総会と同時開催。